友だちが

0

柔道の練習中、投げられた 生徒が後頭部から落ちた!

廊下で友だちとふざけあっ

ていた男子生徒が窓ガラス

にぶつかり、腕を切った!

シャツが血に染まっていき、パ

ニック状態に。

一瞬意識をなくしていたが、す ぐに立ち上がり、会話も普通に できている。



授業中に突然、女子生徒が 過呼吸を起こした!

「息ができない。死んじゃう」 と泣きじゃくり、手足のけいれ んも見られる。



サッカーの練習中、ボール の奪い合いで足がもつれ、 ひとりが転倒した!

「足首が痛いけど大丈夫」とプレーを続けようとしている。



いよいよ 2 学期が始まりました。早速、体育大会があります。みなさんはけがをした時の応急処置は知っていますか?覚えておくといざという時に役に立ちますよ。「備えあれば憂いなし」です。

引き続き暑い日が続きます。熱中症予防も忘れない ようにしてください。

+ 5分以上の圧迫止血を! +

■ 傷口を洗い、ハンカチなどを強 く押しあてて圧迫し、心臓より 高い位置に挙げます。

■ ガラスが体内に残っている可能 性もあるので、必ず病院へ。



◆ 絶対に目を離さず様子を見守る

■ 後から症状が現れることがある ため、目を離してはいけません。

■ 短期間にもう一度頭を打つと、 脳に重大な損傷を起こす恐れが あるため、練習は中止に!



◆ ゆっくり呼吸するように促す ◆

- ■「大丈夫だよ」とやさしく声を かけて安心させます。
- 息をゆっくり吸い、こらえて、 ゆっくり吐ききるように勧め、 落ち着くまで見守ります。



▶ まずは基本の応急手当を!

ねんざや骨折の可能性もあるため、プレーを中断して安静に。

■ 患部を圧迫固定し、氷嚢などで 冷やすと、腫れや内出血を抑え、 痛みを和らげられます。



でをした! どうする

あなたの行動で友 だちを助けられるか もしれません。正し い応急手当を覚えて おきましょう。





©少年写真新聞社2022

7月19日(火)本校講堂にて、日本赤十字社より講師の先生に来ていただき、各部活動の代表生徒と教職員がそれぞれ AED 講習会を受けました。コロナ禍のため、実技指導には感染対策に工夫を凝らされていました。暑い中での講習でしたが、みなさんとても真剣に取り組んでいました。いざという時には、今回学んだ手技を役立ててほしいと思います。

病院、行けた?



健康診断の結果、受診を勧められていた人で、夏休み中に受診した人は保健室に結果を知らせてください。まだの人は、なるべく早く受診しましょう!特にむし歯は受診しないと治りません。大事な時に痛み出すかも…!?

気持ちがしんどい時や困ったことがあった時、

気軽に話せる人はいますか?

今は夏の疲れが出やすい時期です。体が疲れている時には、心も元気が出ないものです。そんな時は、一人で抱え込まずに周りの友達や家族、先生などに相談できるようになりましょう。実は、社会人になっても、一人で悩みを抱え込んでしまう人は少なくありません。でも、人はお互いに助けたり、助けられたりすることで、より成長していくことができます。相談することで、アドバイスをもらえるだけでなく、相手をより良く知ることができたり、自分自身が成長できるチャンスになったらいいですね。

「誰に話したらいいのかわからない。秘密にしてほしい。」そういう悩みの ある時は、カウンセラーの先生に相談してみるのも一つの方法です。もちろん 保健室でも、お悩み相談、いつでもどうぞ。

